

## 中小業者の営業と暮らしを守る「民商の風」吹かそう！

### 消費税減税！インボイス廃止！ 東部・北部・西部民商で力を合わせて宣伝

9月21日(土)午前10時から、大曾根駅(東区側)前で、「消費税5%に」「インボイス制度は廃止!」と通行人に呼びかける署名宣伝行動を行いました。今回は、愛商連から提起された「ブロックごとの拡大統一行動」の具体化として、名古屋東部・北部・西部の3つの民商の合同で行い17人が参加。民商のティッシュを配り、署名の協力を訴えました。

東部民商の宣伝カーのマイクを使い、高橋会長、杉本副会長、高橋婦人部長をはじめ、北部、西部の役員や婦人部役員が元気に訴えました。また、北部民商婦人部の安斎さんは、署名板をもって通りすがりの高校生などに声をかけ、署名を次々にゲット。ほかの民商の役員は、「どうしてあんなに署名が取れるのかな」と不思議そうに見守っていました。

北部民商からは、小塩会長、安藤副会長、三島副会長、前田婦人部長、婦人部役員の宮内さん、安斎さん、事務局2人の8人が参加。三島さんは、大曾根駅の行動の前に、平安通付近に「なんでも相談会」ビラを配ってから参加。小塩会長と宮内さん、前田さんは、駅の北へビラまきに行き、美容院の店主の女性と15分も話し込み、民商のアピールをしてきたなど、皆さん積極的に行動しました。(安藤さんは、翌日曜日に、和賀井支部長と2人で事務所周辺にビラ配りも)全体行動後、婦人部役員だけで「オズモール」(大曾根商店街)へ、ビラ配りと訪問。午後2時から、小塩会長と事務局長の2人で「今日は必ず商工新聞を増やそう」との決意のもとに、小塩会長の地域を歩いて訪問。理容店2軒、美容院、うどん屋さん、洋品店など次々とまわり建築金物、美容院で取ってもらうことができました。美容院では「いつも配ってくれるので、お金を払わないといけないと思っていた」と言われ、「宣伝紙を配っていた甲斐があった」と会長もにっこり。会長は24日までに3部の商工新聞を拡大しました。



### 9.21 能登半島 豪雨災害 緊急支援を

\*24日現在、死者8人、行方不明者7人、浸水家屋調査中(実数がまだ把握できない状況)、停電3800戸、避難者は1000人超

能登半島地震からの復興を目指していたときに、このような災害に見舞われ、言葉もありません。タオル、ティッシュペーパーなど日用品を中心に、第一便として送りたいと思います。

募金は、大歓迎です。全商連からも、被災地の情報や募金の呼びかけもあると思いますが、とりあえず「能登半島地震被災者支援共同センター」(民主団体などが共同で運営)から、支援の呼びかけがSNS上でありましたので、早く集まったものはそちらへ送りたいと思います。

能登半島地震被災者共同支援センター

石川県羽咋市石野町ト13-1

X(旧ツイッター) @notosiensenta

10月の出張法律相談 担当 伊藤勤也弁護士(名古屋北法律事務所・ちくさ事務所)

<日時> 10月23日(水)午後2時~4時 <場所> 民商事務所3階(相談希望の方は予約してください)